

KZ-500 型プリント基板バッテリー切れ時の症状及び対応について

[症状]

プリント基板には、電源 OFF 時に印字データ(フォーマット)と時計(RTC)をバックアップするために使用しているバッテリー(ボタン電池 型番:CR2032 3V)が1個あり、プリントを使用(通電状態)している間は消耗いたしません。バッテリーが低下すると、例として下記のような症状が発生します。

- ①本体電源 ON と同時にプリント LED が点滅し、操作不能になる。
- ②本体電源 ON 後、運転 ON すると、巻取モータが振動し、操作不能になる。
- ③本体電源 ON 後、ターミナル電源 ON すると、ターミナル画面の立ち上がりが遅く、通信異常が発生する。
- ④ターミナル現在時刻が遅れたり進んだりする。再設定しても、電源 OFF でまたズレる。
- ⑤ターミナルとプリントが通信不能になる。

・運転/停止不能 ・紙送り不能 ・テスト印字不能 ・フォーマット転送不能 等

このような症状が出た場合、下記手順にそってバッテリー交換を行って下さい。

[手順 1]

バッテリーを新品に交換します。交換は約2分以内に行ってください。

[手順 2]

バッテリー交換でも復旧しない場合、下記手順にて本体基板のソフトリセットを行ってください。

1. 本体電源 OFF 状態で、基板内のデバッグスイッチ5番を ON(上)にする。
2. 本体電源 ON し、約15秒したら電源 OFF する。
3. 電源 OFF 状態で、基板内のデバッグスイッチ5番を OFF(下)に戻す。
4. 本体電源 ON し、基板のソフトリセットで時刻がズレているため、ターミナルのメンテナンス内にある時刻設定を行う。
5. 基板のソフトリセットでデフォルト値に戻っているため、ターミナルのメンテナンス内にあるヘッド抵抗値設定を行う。
6. オートカルダを使用しているフォーマットをプリントに転送し、印字内容と本機の動作確認を行う。

※日付が印字されない場合には、ターミナルの[メンテナンス]→[データ書換モード]→[保存不要]→[データターミナルにあるフォントをプリントへ転送]を選択し、オートカルダに使用している可変データをプリント本体に転送して下さい。

[基板概略図]

